

問い合わせ先

海洋情報部 監理課

監理課長 米 須 清

TEL099-250-9800(内線 2510)

平成 19 年 1 月 24 日

第十管区海上保安本部

平成 18 年十管区「海の相談室」の相談概要

第十管区海上保安本部では、一般からの海洋に関する様々な質問に対応するため、「海の相談室」を開設しています。

このたび、平成 18 年にあった相談概要をとりまとめましたのでお知らせします。

1 海の相談室とは？

海洋情報部は海上保安庁や各海洋調査機関が収集した、水温・塩分、海流、潮汐、水深、地質など各種の海洋データを蓄積しています。これらを活用して、一般からの海洋に関する様々な質問に対応しています。

2 相談概要

平成 18 年に当管区「海の相談室」にあった相談の件数は、307 件で、前年より 44 件の増となっています。例年通り、潮汐に関する質問が多く、潮干狩り等の海洋性レクリエーションに関する情報提供が多い結果となっています。

別紙は、主な相談事例と相談統計です。

3 その他

十管区「海の相談室」は、平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までの間、いつでも対応しています。今後とも「海の相談室」を有効にご利用ください。

第十管区海上保安本部「海の相談室」連絡先

〒890-8510 鹿児島市東郡元町 4 - 1 第二地方合同庁舎 4 階

電話 099 - 250 - 9800 (内線 2511)

ファクシミリ 099 - 250 - 9812

ホームページ <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/>

E-Mail sodan10@jodc.go.jp

平成18年「海の相談室」の相談事例

1. 指宿・長崎鼻あたりで、沖合いに水面から島(硫黄島?)が浮かんで見えるが、どういうことか?
【一般】

【対応】浮島現象(蜃気楼の一種)と思われる。過去にも同じ付近に同様の目撃情報があった。

2. 鹿児島湾と外海との境界はどこか?

【民間石油会社】

【対応】薩摩半島南部の開聞岬の先端と、大隅半島の立目埼の先端を結んだ線より北側が鹿児島湾である。

3. トッピー号衝突海難事故関連

【報道機関】

(1) 事故現場付近の海底地形はどのようなものか?

【対応】直接、海洋情報部へ出向いてもらい、海底地形図・海図等を閲覧・確認してもらった。

(2) 鯨類の研究を行っている機関はないか?

【対応】すべて把握していないが、(独)遠洋水産研究所などで行っていると思われる。その他、各水産系大学・研究機関等でも行っていると思われるので確認願いたい。

4. 鹿児島県内の離岸流の発生場所について教えてほしい。

【報道機関】

【対応】外洋に面した遠浅の海岸ならどこでも発生する可能性がある。併せて、離岸流のメカニズム等について説明。

5. 野間岬沖の任意の地点の磁針偏差を教えてほしい。

【海上自衛隊鹿屋航空基地】

【対応】海上保安庁作成の計算ソフトで算出し、提供。

6. 鹿児島湾内の海底地形図が見たい。入手方法はどのようなのか?

【民間会社】

【対応】最寄の水路図誌販売所で入手可能。本部にて閲覧は可能であるが、コピーは不可能。(なお、鹿児島湾北部は絶版となっており、日本水路協会がコピー販売している。)

7. 漁礁設置の目標物として、長島の長崎鼻灯台の正確な経緯度が知りたい。

【熊本県漁港漁場整備課】

【対応】海図上で測定するとともに、交通部作成の航路標識一覧表で確認し、回答した。

8. 熱帯魚はなぜカラフルな色をしているのか?

【一般】

【対応】魚を含む生物は他から身を守るため、周りの風景に溶け込む性質があり、(これは保護色と呼ばれるが、)熱帯域ではカラフルな珊瑚礁に体色を併せるため、そのような色になったという説がある。ただこれは一説であり、それ以外の環境による影響や他の説もあると思われる。海保では魚類の調査を行っていないので、詳細については、各県の水産試験場或いは水産系の研究機関にお問い合わせ願いたい。

平成18年相談統計

